



協会報

2018

発行日 毎月1日 通算発行 387号

7



今月のトピックス

知事表敬

常任理事会の開催

北陸地方整備局との意見交換会の開催

最近の完成工事から

南加賀道路（粟津ルート）の全線完成

～南加賀地域の振興と活性化に向けて～

石川県南加賀土木総合事務所



石川の工芸シリーズ

石川県立美術館蔵

ひょうもんすずき たな おお ぼしろうぎょ
平文 薄の棚 <大場松魚【大正5(1916)年-平成24(2012)年】>

制作年 / 昭和53(1978)年 サイズ / 幅94cm × 奥行35cm × 高さ59.3cm 技法 / 蒔絵・平文
大場松魚は、昭和57(1982)年に蒔絵部門で重要無形文化財保持者に認定されており、漆芸の加飾技法の中でも、とりわけ平文の技法に秀でた作家である。作品は、漆黒地に洗練された金平文の線によって風に揺らぐ晩秋の薄を表したもの。薄の間には夜露としての真珠を置き、側面には平文で鈴虫をさり気なく配している。平文を自在に操り、簡素で力強く、かつ優美な世界を作り上げた会心の作といえる。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-1161(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS 7

2018



石川の工芸シリーズ
ひょうもんすき たな
平文薄の棚
大場 松魚(おおば しょうぎょ)

1	今月のトピックス	
	知事表敬	2
	常任理事会の開催	2
	北陸地方整備局との意見交換会の開催	3
2	最近の完成工事から	
	南加賀道路(粟津ルート)の全線完成 ~南加賀地域の振興と活性化に向けて~	
	石川県南加賀土木総合事務所	4
3	平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.6	
	株式会社豊蔵組	6
4	雇用改善コーナー	
	工業系高校生(金沢市立工業高等学校)の現場見学感想文	8
5	地区協会コーナー	
	平成29年10月1日スタート 「労働災害1,000日連続ゼロ宣言」 (一社) 珠洲建設業協会	10
6	会員リレーコーナー	
	¹⁷⁵ 株式会社ミヤジマ建設	11
7	今月の「輝き!」さん No.40	
	沢田工業株式会社 宮本涼平さん	12
8	新企画 おすすめ 県政出前講座 vol.1	
	いしかわの景観づくり 石川県土木部都市計画課 景観形成推進室	13
9	協会だより	
	委員会の開催	14
	土木委員会	
	委員会の開催	14
	土地改良委員会	
	農林合同セミナーの開催	14
	役員会の開催	14
	農地・林地防災月間における現地対応訓練	15
	広報・研修委員会	
	企画部会の開催	15
	雇用対策特別委員会	
	委員会の開催	16
	建設技術研修所	
	第40回測量コンテストの開催及び競技結果報告	16
10	建産連だより	
	平成30年度石川県建設産業連合会理事会・通常総会の開催	17
11	石川県土木施工管理技士会だより	
	通常総会・講演会の開催	18
12	業界時報	
	平成30年6月 人事異動(国土交通省関係分抜粋)	19
	労働災害発生状況	19
	平成30年度 建設工事受注高調(元請)	19
13	会員消息	20
14	県協会からのお知らせ	20
15	地区協会からのお知らせ	21

◆ 今月のトピックス ◆

知事表敬

6月28日(木)午後3時から石川県建設業協会の吉光会長、平櫻副会長、江口副会長、鶴山副会長、竹腰土木委員長、橋本建築委員長、真柄土地改良委員長、高田広報・研修委員長、山岸専務理事の9名で谷本知事を表敬訪問した。

吉光会長からは、6月補正予算と当初予算を合わせて平成20年以来10年ぶりとなる1千億円を超える投資的経費が確保されたことに対し、協会として大変ありがたく思っているとの感謝の意を伝えた。

知事からは、新幹線開業効果が出ている今こそ金沢港や金沢城公園の鼠多門・鼠多門橋、加賀海浜産業道路など必要なインフラ整備を急ぐ必要があること、ラグビーワールドカップ、東京オリンピックを見据えた海外誘客対策として、戦略的な旅行商品づくり(団体客、個人客向け)をすすめている等の話があった。その後、石川の社会資本整備のあり方について知事と活発に懇談をさせていただいた。知事表敬後に、中西、竹中両副知事、土木部長(他土木部幹部)へ挨拶を行った。



常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は、6月4日(月)午後2時から石川県建設総合センター特別会議室において常任理事会を開催した。

冒頭吉光会長は「本年は当協会及び全国建設業協会が設立70周年の節目の年、地域建設業を取り巻く環境は大きく変化している。地域建設業が「地域の守り手」としての役割を継続してゆくためには積極的に建設業の魅力を発信し、担い手の確保育成にしっかりと取り組んでいく必要がある。また国は「建設業働き方改革加速化プログラム」の取り組みを加速させている。協会としても「休日 月1+(ツキイチプラス)運動」を推進する他、ICTなどの新技術の習得にも鋭意取り組んでゆく必要がある。」と挨拶。

続いて次の議題について審議・報告が行われた。

1. 石川県平成30年度6月補正予算の概要について資料に基づき山岸専務理事が説明を行った。
2. 担い手対策に向けた事業者実態調査(アンケート)の実施について今後の担い手対策のための担い手不足の実態調査の実施について山岸専務理事が説明を行った。



3. 建設業をめぐる最近の話題について
最近の話題7点について、辻相談役が説明を行った。
4. 地区協会からの報告について
各地区協会より行事予定、業界時報、社会状況についての報告が行われた。
5. 今後の行事予定及び会員受注高について
事務局より説明が行われた。
6. その他
「足立敏之の一年」と題した資料に基づき足立敏之参議院議員の活動状況の紹介が行われた。

北陸地方整備局との意見交換会の開催

6月14日(木)午後3時30分から、ホテル日航金沢において、北陸地方整備局との意見交換会を開催した。

北陸地方整備局の出席者は、小俣局長、渡辺企画部長、牧野建政部長ほか8名の整備局幹部と、当協会からは正・副会長及び常任理事が出席した。会議では冒頭に小俣局長から「官民が歩調を合わせて働き方改革や生産性革命に取り組むことで、若い人の入職、定着の促進を図るとともに、公共事業予算においても政府全体の公共予算を伸ばすことも大事だが、配分という意味で地方へ手厚くすべきということを建設業界の皆さんも引き続き訴え、必要な事業を進めていかなければならない。」と述べられた。吉光会長からは「建設投資の首都圏と地方との格差や大企業と中小企業の企業間格差が近年拡大していることから、地域の守り手としての役割を果たしていくために必要な事業量確保が何より重要だ」と、公共事業の地方への傾斜配分を強く要望した。意見交換会では、若者の獲得に最も有効な手段である現場の週休2日の実現に向けた取り組みや、適正な工期設定を国・自治体工事だけではなく民間工事にも浸透させる方法や、建設キャリアアップシステム、ICT工事などについて、活発な意見交換が行われた。

北陸地方整備局からの情報提供及び当協会からの意見・要望は下記のとおり。

【整備局】

平成30年度の取り組みについて

- ・ 予算と主要事業
- ・ 建設業における担い手確保に向けた働き方改革
- ・ 建設現場の生産性向上
- ・ 新技術の活用促進
- ・ 受発注者間のコミュニケーションの確保
- ・ 北陸ブロック発注者協議会
- ・ 営繕事業
- ・ 社会保険未加入対策
- ・ 建設キャリアアップシステム
- ・ 北陸地方整備局建設業法令遵守推進本部
- ・ 中小企業等経営強化法
- ・ 金融事業（国費が投入されている基金事業）
- ・ 中堅・中小建設業海外展開推進協議会 < JASMOCC >



【当協会】

石川県建設業協会からの意見・要望

- ・ 建設キャリアアップシステムについて
- ・ 電子契約について

最近の完成工事から

南加賀道路（粟津ルート）の全線完成 ～南加賀地域の振興と活性化に向けて～

石川県南加賀土木総合事務所

1 はじめに

南加賀道路は、小松空港及び北陸自動車道小松インターチェンジから加賀温泉郷を経て加賀インターチェンジに至る本線ルート27.9kmと、本線ルートより分岐し、粟津方面に至る粟津ルート4.7kmより構成され、南加賀地域の振興と活性化に大きな役割を果たす極めて重要な幹線道路であり、本県の「ダブルラダー輝きの美知（みち）」構想の南北幹線にも位置付けられています。（図 - 1）

このうち、粟津ルートである小松市湖東町から馬場町4.7kmについては、これまで、矢田野町から馬場町間3.0kmと湖東町から矢田野町間0.8kmがそれぞれ供用しています。

残るJR北陸本線を跨ぐ矢田郷跨線橋を含めた矢田町から矢田野町間0.9kmについて、平成25年度から工事に着手し、ICT建機も活用しながら、鋭意整備を進めてきた結果、平成30年5月20日に開通し、これにより、粟津ルートが全線完成しました。



図 - 1 南加賀道路全体計画図

2 事業概要

路線名：南加賀道路（粟津ルート）
（一般県道新保矢田野線）

事業箇所：小松市湖東町～馬場町地内

延長：L=4.7km（うち0.9kmが今回開通）

道路区分：第3種第2級

幅員：W=6.5m（11.0m）（今回開通区間）

主要構造物：矢田郷跨線橋（L=71.4m）（写真 - 1）



写真 - 1 矢田郷跨線橋

3 事業の効果

粟津ルートの全線完成により、以下の整備効果が期待されます。

南加賀地域の連携の強化

北陸自動車道や小松空港と連結し、南加賀地域の連携を強化します。

観光振興や地域の活性化

北陸自動車道や小松空港から粟津温泉への直通ルートが整備されることで、観光振興や地域の活性化に大きく寄与します。

安全性・利便性の向上

跨線橋の整備により、JR北陸本線と立体交差になり、安全性や利便性が向上します。

4 事業の特徴

ICT 建設機械の活用

矢田町から矢田野町間の整備では、ICT 建設機械により上層路盤を施工しました。

人力による丁張り設置作業や検測作業が不要となり、人為的ミスを防止するとともに、施工の効率化が図られました。また、建設機械周辺での作業が減少し、作業員と建設機械の接触の危険性が減少するなど、安全性も向上しました。

(図 - 2)



図 - 2 ICT 建設機械による施工

矢田郷跨線橋

跨線部（L = 約38m、高強度PCポステンホロー桁）については、3ブロックに分割したプレキャストセグメント桁を製作・搬入し、プレストレスを導入して、現場接合しました。

架設は、500t吊クローラクレーンを使用し、夜間（3:50～5:10）に施工するとともに（写真 - 2）、あわせて、地元住民を対象とした現場見学会を開催しました。

また、跨線橋の名称は、地域の総称である「矢田郷」を後世に残したいという地元の要望を元に「矢田郷跨線橋」と名付けました。

橋名板については、地元の月津小学校と矢田野小学校の6年生に揮毫していただき、平成30年3月に感謝状を贈呈しました。（写真 - 3）



写真 - 2 矢田郷跨線橋の架設状況



写真 - 3 橋名板揮毫者の表彰

5 おわりに

平成30年5月20日に知事、小松市長など、多数の関係者の列席のもと、開通式が執り行われました。

今回の矢田町～矢田野町間の開通により、粟津ルートが全線完成し、小松インターチェンジや小松空港から粟津温泉へのアクセスが向上するなど、南加賀地域の活性化に大きく寄与するものと考えています。

最後になりますが、本道路の整備に多大なるご尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。



写真 - 4 完成した小松市矢田町～矢田野町間

平成29年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.6

施工企業名：株式会社豊蔵組

工事名 金沢外環状道路海側幹線Ⅳ期 地方道改築工事
(浅野川橋梁 山側A2橋台工)

工事分野 橋梁下部工事

施工場所 金沢市北寺町 地内

工事概要
橋梁下部工

橋台工(逆T式鉄筋コンクリート橋台 H=6.0m) N=1基
基礎杭(場所打ち杭 φ1200mm L=42.0m) N=28本

工期 平成28年3月31日～平成28年12月26日

推薦理由

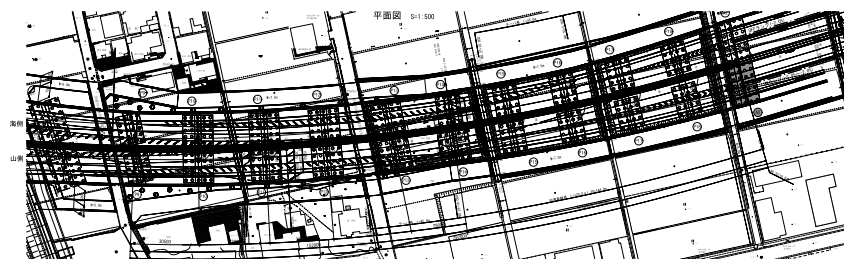
本工事は、非常に軟弱な地盤における杭基礎および橋台を築造する工事であり、鉄筋カゴの沈下防止として主筋継手部に無溶接金具を使用し、頭部には剛性の高い特性スペーサーを設けるなどの工夫により、杭の変心・傾斜を最小限に抑えた。本工では、温度応力解析によるひび割れ制御鉄筋の配置や全天候型仮囲い養生の実施、ミストファンによる湿潤養生、コンクリート内外の温度管理などにより、ひび割れの発生を最小限に抑え、良好な出来栄で工事を完成させた。



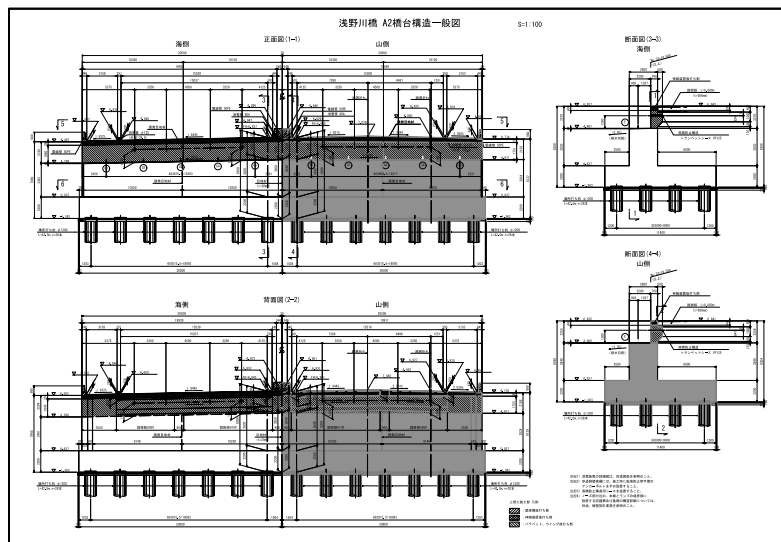
工事完成写真 起点側より終点側を望む



工事完成写真 終点側より起点側を望む

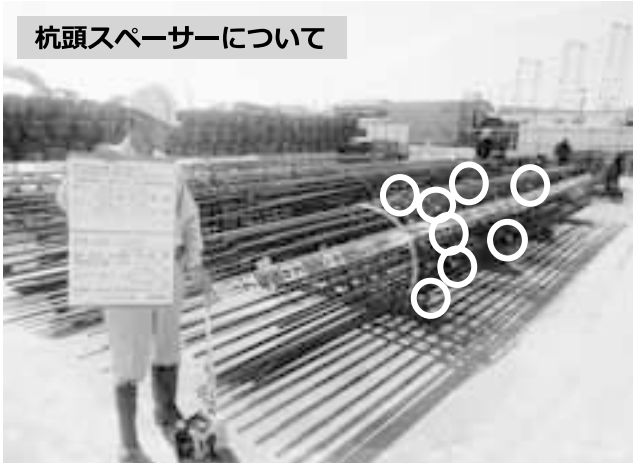


全体図 ■の部分为本工事施工範囲



一般構造部図 ■の部分为本工事範囲

杭頭スペーサーについて



杭頭スペーサー 上部三段をD22に(白丸で囲んだ部分の鉄筋)



杭頭処理完了



雪寒仮囲い状況



ミストファンによる養生状況

現場代理人のコメント



現場代理人
架谷史浩氏

この度、「金沢外環状道路海側幹線Ⅳ期地方道改築工事（浅野川橋梁山側A2橋台工）」の工事にて土木部優良建設工事知事表彰を頂いたことは、関係者一同にとりまして、大変名誉なことであり深く感謝いたしております。

本工事は、金沢外環状道路海側幹線・浅野川橋梁の下部工事を施工するものであり、基礎杭（オールケーシング工法）28本、橋台1基が主な施工内容でした。

基礎杭はN値4以下の軟弱な地盤上で杭長42mの場所打ち杭を構築するもので、使用する鉄筋籠は5本継で、その重量の8割が杭頭付近となる第1節・2節に集中していることから第3節以下の座屈抑制および、鉄筋籠の変位抑制が最大の課題となりました。

座屈抑制対策としては、組立筋を2.1m以下で配置し一断面あたり4個のねじれ防止金具を使用するとともに、主筋の重ね継手部には主筋連結金具にて堅固に固定しました。

変位抑制対策としては、従来型のD13スペーサー筋を無溶接金具で固定した場合、生コン打設の際に発生する側圧で鉄筋が変形または破損してしまう可能性があることから、上部三段をD22スペーサー筋に変更し、構造鉄筋とは別に配筋した鉄筋に溶接固定しました。

橋台躯体は冬期の施工となることから、コンクリートの品質低下や天候不良による施工遅延が懸念されました。この対策として雪寒仮囲いを設置し給熱養生により養生温度管理を行い、品質低下を防止しました。また、雪寒仮囲いにより悪天候でも仮囲い内での作業が行え、計画通りに工程進捗ができました。

最後になりましたが、本工事が無災害で無事完了できましたことは、県央土木総合事務所ならびに外環状道路建設課の方々の助言と、近隣住人皆様の御理解・御協力があったの事と思います。

今回の受賞を励みに、さらなる努力をしていきたいと思っております。有難う御座いました。

雇用改善コーナー

工業系高校生（金沢市立工業高等学校）の現場見学感想文

『現場は安全第一であることがわかりました。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 浦つかさ

私は今回、工事現場を見学してたくさんの事を学ぶことができたのでよかったです。橋をつくる時は橋の端からつくり始め、移動作業車で移動して橋をつなげることによって完成するとわかりました。防護柵などを設置することによって少しでも事故を防ごうとしていると思いました。高い所に登ってみて、たくさんの柱に支えられていたし、たくさんの人が登っても大丈夫なようにとても丈夫にできていると思いました。時間をかけてでもがんじょうな橋をつくれるのはすごいと思います。



そして工事現場には、よけいな物がなにもおいてなく整理せいとんされていて常に安全第一なことがわかりました。

高い所で作業する時には安全帯をつけてたりすると知りました。今までは分からなかった現場の工夫やみんなの安全を守るためのたくさんの工夫をすることができたのでよかったです。今まで授業では学ばなくて自分ではまだ分かっていなかったことがあったけど、現場で直接みることができてよかったです。これからの授業で活かしたいです。

『今回の現場見学を通して土木の仕事に興味を持つことが出来ました。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 奥村梨未

輪島市にある小泉高架橋上部工事に行ってきました。清水建設さんのお話を聞きました。3つの柱をつくっていてその柱の1番上までのぼらせていただくことができました。クラスの約半分の人数でのぼったのですがかなり高くて怖かったです。そこで清水建設の方に「女性の社員の方はいるのか。」ということをお聞きしたところ現場にはいないけど会社の方にはいるとのことでした。そして、鉄の棒を持たせていただきました。細い棒は少し重いけど持てました。けど太い棒は重くて1人で持つことが難しかったです。安全着のようなものも付けさせてもらえました。これは命綱のようなもので命を守ることができるそうです。実際に助かった方もいるそうですすごいと思いました。

今回の現場見学を通して、土木の仕事について興味があまりなかったのですが持つことができたので今回の見学は良かったと思いました。今つくっている輪島の橋ができたらまた見に行きたいです。

『土木業のうらがわを知ることが出来ました。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 桶屋里奈

輪島市の小泉高架橋ではとても重い鉄筋をもたせてもらいました。とてもおもく片手ではもてないくらい重く、両手でもとてもきつかったです。そして橋脚にのぼりました。とてもたかくて少しこわかった

です。上までいくとその橋脚の中身を見ることができました。黄色の板でかまれている自分たちが見たような鉄筋がたくさんささっていました。このようなものでどんなに重い物をささえたいけるというのがすごいと思ったし、100年先までつづいているというところがすごくやりがいのある仕事だなと思いました。

次に見学に行ったのは海側幹線です。とてもきれいでした。そして一つ一つをつくるのにたくさんのお金と労働力が必要なんだと改めて思いました。この海側幹線をつくるのにまだまだたくさん時間がかかりたくさん人がつかえるようになるということを知り、土木業は人々の移動などになくてはならないんだと思いました。そして1ミリメートルでもずれがあるととても大変なことになるとことを実感しました。

土木業をしている方々はたくさんの人々からの信頼があるからこそ人々が使う道路やトンネルなどを自分たちの手でつくれるということがすごいと思いました。

『実際に現場に行って見た方が多くのことが学べると思った。』

金沢市立工業高等学校 土木科 1年 金澤広登

工事現場見学を終えて、学校で学ぶより実際に現場に行って見たほうが多くのことが学べると思いました。

能越道の輪島道路の現場では、とても作業員のことを考えてくれる現場だと思いました。高所での作業など安全に作業できるように安全帯やたれ幕などで注意をしたり、週休2日になっていたりして安全第一でやっています。今まで考えていた工事現場とは違っていました。そして橋を設計する人、用地を準備する人、橋を施工する人などとても多くの人に関わってやっとできるものだと分かりました。最初からきちんとしたものをつくれれば100年後も使えるものをつくることはとてもうれしいと思います。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20

中屋三井ビル2F

地区協会コーナー

平成29年10月1日スタート 「労働災害1,000日連続ゼロ宣言」

(一社) 珠洲建設業協会

奥能登土木総合事務所発注工事における労働災害は平成20年度から平成27年度までは0～4件と他の土木総合事務所と同程度の発生件数で推移していた。しかしながら、平成28年度は5件と県内全体の45%を占める結果となり、事故発生のたびに注意喚起を求められていた。平成29年度に入り奥能登土木管内において死亡災害が発生してしまった。

この事態を重視した奥能登土木総合事務所のアドバイスを受け、珠洲建設業協会では平成29年9月29日に「安全対策協議会」を設立し、10月1日より「労働災害1,000日連続ゼロ宣言」をスタートした。

安全対策協議会規約の抜粋

第2条（目的） 会員相互が安全衛生の学習により安全意識の向上に努め、当地区において「労働災害発生ゼロ」を目的とする。

第5条（事業） 本協議会は第2条の目的達成のため、下記の事業を行う。

1. 安全パトロールの実施
2. 安全衛生講習会の実施
3. その他、目的達成のために必要な事業

安全対策協議会運用規則の抜粋

第1条（事業の目的） 規約第2条の目的達成に努め「労働災害無事故連続1,000日達成」を目標とする。

第2条（事業の頻度） 規約第5条の開催は月に1回とする。ただし労働災害が発生したときは労働災害ゼロ100日を達成するまで月2回とする。

平成29年度の事業実績

- 9月 設立準備会議（第1回委員会）
設立総会（安全宣言）
- 10月 安全パトロール（現場2箇所）
第2回委員会（周知方法の検討）
- 11月 安全パトロール（現場4箇所）
- 12月 ヘルメットに貼るシールの配布
安全パトロール（現場3箇所）
- 1月 安全パトロール（現場2箇所）
- 2月 第3回委員会（訓練のシナリオ作成）
事故発生時の対応訓練
- 3月 安全パトロール（現場2箇所）
事故発生時の対応訓練



事故発生時の対応訓練の様子

委員会で作成したシナリオを参加者全員が役者となり、一連のドラマを演じた

平成29年10月1日スタート
労働災害1,000日連続ゼロ宣言
平成30年5月23日現在 234日達成

会員リレーコーナー

175 株式会社ミヤジマ建設
(所在地：加賀市山中温泉二天町ホ40-3)



社章

衣替えを迎え、みちゆく人の装いにも白がめだつようになりましたが、皆様におかれましては、毎日お忙しくお過ごしの事と申し上げます。

1951年 第一回紅白歌合戦。度量衝法が廃止され、メートル、キログラムを採用など、そんな時代に（昭和26年）わが社は山中温泉で 宮島工務店 として創業を開始しました。私が生まれる10年前の事です。当時は家の基礎、曳家、取り壊し、一般土木工事といった民間工事を主に地元作業員を雇用し、山中町をメインに仕事をしていました。

昭和45年 日本万国博覧会（大阪万博）アポロ13号打ち上げなど、そんな出来事の時代に、株式会社 宮島工務店 に法人化をしました。その頃から公共工事を主体に会社が大きく変わっていったとのことです。当時はすでに時代の流れもあ



り、土木工事をメインにやっていたと聞いています。

私が入社した昭和50年代後半は作業員を20名ほど抱え、現場責任者も10名近くいました。

入社当時は、毎日が、作業員の仕事の資材管理、現場の段取りに加え、作業員とのコミュニケーション作りなど、右も左もわかっていない自分にとっては、毎日が勉強でした。そんな頃から、加賀地区では丸谷ダム建設工事が、本格的に始動し、わが社も、私自身もそれらの関連工事を多く手掛け、携わることが出来ました。

平成10年 冬季長野オリンピック、第16回サッカーW杯フランス大会に日本が初出場など、そんな頃から、建築工事でも本格的にはじめ、土木工事減少の中、平成17年には、金沢支店を開設し、石川県木造住宅協会への加入など、現在に至りません。

長々と沿革じみた事を書かせていただきましたが、平成22年、私が代表取締役になってからは、従業員の平均年齢も若返り...。って思っていたら新入社員が入ってこないまま、みんな、ベテランになってしまいました。新規採用については、前向きに、常時ハローワークへ募集提出してるのですが、なかなか面接の機会がない、この地域の現状ではないでしょうか？ わが社としても、人、仕事、就業条件、何か一つでも他社より秀でたところを、今でも模索中です。

さて、今年は大変な大雪でした。何年かぶりに、私もフル稼働させて頂きました。人手不足の中、ひとつでも社会貢献に携わることができれば、私としては、ちょっとだけ満足です。

今回はガイド建設株式会社 代表取締役社長 阿部祐昌さんにバトンをお渡ししますので、よろしく願いいたします。

(株式会社ミヤジマ建設 代表取締役社長 今井 剛)



会社外観

今月の「輝き！」さん
No. 40



沢田工業株式会社	宮本涼平さん
業 種：営業担当	
経験年数：3年	
年 齢：27歳	

野々市市粟田の沢田工業(株)の社屋に今月の輝きさんの宮本涼平さんを訪ねました。

- あなたのご紹介と、この会社への入社動機について教えてください。

私の出身は金沢市で両親と妹の4人家族の中で育ちました。小中学、高校は地元の学校に通い、大学は大阪に出て法学を専攻していました。法学部出身者の就職先は裁判官や弁護士、法律事務所等の法律関係の就職先を除けば特段就職先が特定されません。私としては大阪か地元で営業を就職先として考えていました。結果的にはご縁があり地元の建設会社で営業を担当する仕事に就くこととなりました。

- あなたの会社について、また入社後の体験や現在の勤務等について教えてください。

会社は昭和40年創業の道路等の舗装を専門とする社員数50名規模の建設会社です。現在社長の澤田 剛(50歳)は、創業者より3代目と聞いております。また社長は石川県建設業協会の役員等を務められておられます。

会社に入社後1カ月は工事現場での研修に従事し、その後1年は先輩に同伴し営業のノウハウを学び、現在は一人で担当する区域の建設会社等での営業活動に従事しています。

- 営業は面接能力を必要とするため、嫌遠されがちな職種ですが大丈夫でしたか？

私としては現場作業や事務作業よりは営業が好きです。もともと人と話すことが好きだったので、コミュニケーションは問題ないと思います。営業のスタイルは、個々の営業マンによって違うと思いますが、私の場合は誠実であることを基本に、お客さんとはユーモアのある雰囲気づくりを心がけています。

- 入社されて、これまでどんな仕事をされましたか？

私の営業の担当区域は主に野々市市と白山市で、毎日この区域の建設会社を訪問する形で営業を続けています。先日、大きな駐車場の仕事をさせていただいたのですが、お客様と打ち合わせを重ね、社内である方々の知恵を借りて提案、見積をしました。結果、お客様にも喜んでもらえる現場にすることができました。この経験で大きな達成感を味わったとともに、改めてやりがいも感じる事ができ、忘れられない現場となりました。

- 現場での人間関係を含め仕事を進めるうえで大変と思うことは何ですか？

営業には、現場の情報がかかせません。そのため現場の方とは常に密接な関係を保つことが大切ですが、現場社員の中に私と同年代の若手がないことが残念です。友達感覚で話し合える同僚がいればもっと楽しく仕事ができると思うこともあります。

- 仕事を進めるうえで目標とすることは何ですか？

私自身が一級土木施工管理技士の資格をとり営業の幅を広げることです。また、営業ではバランスのある見積もりを立てること。つまりお客にとって会社にとっても相互が利益となる仕事を企画することです。

- 結婚しお子さんがいると聞きましたが趣味や余暇について教えてください。

学生時代に大阪で知り合った女性と1年前に結婚し現在5カ月になる男の子がいます。休日は子供の面倒をみたり、スポーツをして汗を流したり、スポーツ観戦等で休日をおすごしています。

営業あつての現場、現場あつての営業、とかく物造りの技術が注目される建設産業の中で、かかる営業マンがこの産業を支えていることを、今回のインタビューで改めて認識することとなりました。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ
vol.1
県政出前講座

今月のテーマ

いしかわの景観づくり

石川県土木部都市計画課 景観形成推進室

「いしかわの景観づくり」では、県の景観施策の取組みや良い景観の事例、また「そもそも景観とは何か」といった景観にまつわる基本的な事柄も説明しています。建築やまちづくりの設計に携わる方、建設工事に関わる事業者の皆様など、様々な方々にご利用いただければ幸いです。

景観施策の取組み

いしかわ景観総合条例の内容や、県が実施する様々な景観施策（法令による規制誘導、各種普及啓発、まちづくりの取組み等）について説明します。



条例に基づき景観形成重点地区に指定した珠洲市日置(ひき)地区

いしかわの景観資源

白山や加賀・能登の海岸など多彩な地形が織りなす自然景観、歴史的・伝統的な街並み景観、能登の里山里海景観など、県内の優れた景観を紹介します。



木場潟から望む白山の眺望景観

良好な景観のポイント

良好な景観や見やすい景色とは、どのようなものなのか。設計や施工に携わる方にも参考となる内容として、良好な景観のポイントについて説明します。



美しい海が見える穴水町鹿波寄り道パーキングの視点場

県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、約140件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員（県庁職員）が説明します。

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用（旅費・軽微な資料代など）は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから（<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>）詳しい申し込み方法をご覧ください。「石川県 出前講座」で検索してもすぐ見つかります。

パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

（石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp）

協会だより

委員会の開催

土木委員会

委員会の開催

土木委員会第1回全体会議の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）の構成員が一堂に会する全体会議が、6月29日（金）に金沢市内のホテル金沢において開催された。会議には竹腰委員長ほか36名の委員と県協会土木委員会担当の鶴山副会長が出席し、下記の議事について事務局より報告及び審議事項の説明を行い、満場一致で了承を得た。

議事事項

役員改選・委員及び所属部会について
平成29年度活動報告及び決算報告
平成30年度活動計画（案）及び予算（案）
について
地区協会との意見交換会について
最近の話題について（情報提供）

会議終了後に、金沢河川国道事務所副所長の
大角一浩氏より「平成30年度事業計画並び
に予算等について」と題しまして、平成30
年度予算概要、予算に関する動向、生産
性向上とi-Construction、トピックスについてのご講演を、石川県技監（土木担当）の竹俣隆一氏より「石
川県の土木施策等について」と題しまして、土木部の基本方針、県内全線開業（第二の開業）による
開業効果の最大化に向けた基盤整備の促進、県民生活の安全・安心の確保、建設業の活力再生、最
近の話題についてのご講演を拝聴し、散会した。

なお、会議終了後、同所において会議に出席された方との懇談会を開催しました。



会議状況



竹俣氏講演



大角氏講演

土地改良委員会

農林合同セミナーの開催

土地改良委員会（委員長 真柄卓司）と石川県森林土木協会の共同
主催による建設産業育成セミナーを、6月14日（木）に石川森林文化セ
ンター（金沢市東蚊爪）で協会会員から103名の参加により開催した。

セミナーでは「工事評価事例からの考察」と題して、（公財）日本建
設情報技術センターから上席調査役 齋藤直樹氏から、1. 建設業界
の働き方改革等の最近の動向、2. 工事成績評価事例の考察と失敗し
ない現場事例、3. 失敗から学ぶ効果など、事例からの検証を交えて、
成功と失敗から学ぶ効果を、わかりやすく解説された。

働き方改革の動向（週休2日など）では、生産性向上と働き方改革は両輪で行政と民間企業の取組の関
係性が重要である説明。工事成績評価や過去の失敗から得た経験や教訓は、技術者を成長させ、工夫やア
イデア、ひらめきとして現場経営で成果を上げている。また、安全にヒヤリハットや災害体験ができる仮
想失敗体験などの労働安全衛生マネジメントシステムの取組などが災害防止の期待される効果（基本）
であると話された。



役員会の開催

土地改良委員会（委員長 真柄卓司）は、6月18日（月）午後5時半から金沢市内において、本年度最初の
役員会を開催した。役員会は委員長以下17名の出席のもと、小柳正彦前委員長が退任挨拶を行い、先月（5
月25日）開催の当建設業協会総会で選任された真柄卓司新委員長が就任挨拶を行った。引き続き次の通り
の議題審議を行った。

1 議事

- ・当委員会の役員及技術検討部会役員の選任、及び平成29年度事業報告、並びに土地改良委員会の会費の報告がなされた。
- ・平成30年度事業計画については、来年度早期の事業展開が求められている河北潟周辺の国営事業等への要望活動などが新たに提案された。

2 その他の情報提供について

- ・平成30年度の土地改良関係の予算状況と、土地改良事業落札率の過去3ヶ年間の推移、快適トイレの試行要領策定などが報告された。



農地・林地防災月間における現地対応訓練

石川県農林水産部では、梅雨入り間近な6月1日(金)から6月30日(土)までを、農業施設や治山施設の豪雨等による災害防止を呼びかける農地・林地防災月間としており、平成30年度は『ふせごう災害 守ろう 里山』をテーマに県内全域で、ため池、治山施設等の一斉点検、避難訓練、災害情報伝達訓練等が実施されました。

この期間中の6月21日(木)に、石川県との災害応援協定に基づき、県内5農林総合事務所の土地改良部では、大雨による「ため池堤体」の堤体法面崩壊や「農業用水路」での溢水被害が発生したとの被災想定の下、土地改良委員会の会員企業が参加しての現地対応訓練が県下一斉に実施された。

訓練当日は梅雨入り直後の不安定な天候で、早朝に土砂災害警戒情報が発令されたとの想定で、災害応援協定に基づく各地区の情報連絡担当者(当協会員)へ連絡後に、各農林総合事務所では本建設工業(株)、白山建設(株)、(株)麴香重機建設、(株)大窪工務店、北能産業(株)の会員会社に現地への出動要請がなされ、各社では現地対応班が出動し、地元、市町などの関係機関と共に、シート張りや土嚢積みなどの現地対応訓練が行われた。

小松市波佐羅町の花谷上堤、かほく市気屋の大谷堤、羽咋市宇土野町の矢の木溜池、能登町上長尾の正南池の各ため池では、下流域の田・人家等に被害が出ないように堤体法面のクラックへの雨水流入防止のためのシート被覆などの応急措置の訓練が行われ、同時に、能登町上長尾の正南池では堤体決壊による集落への被害が予想されることから、地元住民約40名が参加して避難訓練も行われた。

また、野々市市清金町のセケ用水では、一部水門の操作不能による宅地への溢水被害が想定されることから、土手の土嚢積みによる応急対策の訓練が行われた。



ため池での訓練
(正南池 能登町上長尾地内)



避難訓練(上長尾集会場への避難状況)

広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会(部会長 高田直人)は6月19日(火)午前10時30分から石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について次の通り審議を行った。

- 1 協会報7月号について
事務局説明の編集計画が審議され承認された。
- 2 おすすめ県政出前講座について
協会報新企画記事として作業の推進状況及び次回の委員会での県政出前講座の実施項目等について説明がなされた。
- 3 研修所からのお知らせ
6月13日開催された第40回測量コンテストの実施結果について報告がなされた。
- 4 その他
7月10日珠洲建設業協会において開催予定の情報共有システムを用いた電子納品講習会について報告がなされた。



雇用対策特別委員会

委員会の開催

雇用対策特別委員会（委員長 岡 昌弘）は、6月27日（水）午前10時30分より石川県建設総合センター4階401会議室において、委員29名の出席にて平成30年度第1回目の委員会を開催した。

冒頭、岡委員長が建設業界で大きなテーマは働き方改革と生産性向上への取組みであり、国・県から週休2日モデル工事を発注して頂き、工期やコスト面での課題を克服しながら取り組んでおります。また、全国建設業協会が提唱しております「休日 月1+（ツキイチプラス）」運動を広める等、若者にとって魅力ある職場となるような担い手確保・定着対策が必要となっておりますと挨拶した。

その後、石川労働局労働基準部、石川県商工労働部労働企画課・石川県土木部監理課より行政連絡を受けた後、事務局より次の通り議題審議を行った。

- 1. 平成30年度事業計画
- 2. 平成30年度行事計画

引き続き、行政関係との意見交換が行われ、今秋に新たな在留資格の創設や法改正が見込まれる外国人労働者について、委員会としてその法改正の内容等の把握を今後の課題として意見が出され、今年度より新たに副委員長に就任された豊蔵享一副委員長の挨拶の後、閉会となった。



建設技術研修所

第40回測量コンテストの開催及び競技結果報告

～地区協会対抗戦は河北郡市土建協同組合が優勝、企業対抗の水準部門は（株）ミヤジマ建設、トラバース部門は鈴木建設（株）が最優秀賞～

（一社）石川県建設業協会の主催、（一社）石川県測量設計業協会の共催による第40回測量コンテストが6月13日、金沢市の奥卯辰山健民公園で開かれた。

前日までの雨も晴れ、過ごしやすい気候のもと29チーム（58名）が参加し、高度な技術力を求められる起伏のある競技場で日頃培った技術を競い合った。

九地区協会による団体戦（水準測量）は、河北郡市土建協同組合が優勝となった。

高低差の大きい競技コースが設定された企業対抗の水準測量部門では、15チームが参加し、（株）ミヤジマ建設が3年ぶりの最優秀賞に輝いた。トラバース測量部門には、5チームが参加し、鈴木建設（株）が最優秀賞を獲得した。

表彰式は、6月28日石川県建設総合センターで行われ、各入賞チームに賞状、記念品を授与した後、高田直人広報・研修委員長が「このコンテストで上位に入ることは、日頃の訓練の賜物。一層の研鑽と活躍を期待している」と、お祝いの言葉を述べた。その後、共催の（一社）石川県測量設計業協会 松浦誠治（有）松浦測量）審査委員長より「全体的に、皆さんがコンテストの趣旨を理解して、よく予習されていると感じた」と講評をいただいた。

受賞されたチームは下記のとおり。



高田直人広報・研修委員長の開会挨拶と審査員、参加者のみなさん



起伏のある企業対抗水準測量コース

区 別	賞	協会名	受賞者名	
（地区協会対抗） 水準測量	優 勝	河北郡市土建協同組合	竹谷 和也	山越 朋文
	準 優 勝	（一社）小松能美建設業協会	中谷拳志郎	斎藤 健一
	三 位	（一社）殊洲建設業協会	時兼 豊和	橋詰 実

区 別	賞	企業名	受賞者名	
(企業対抗) 水準測量	最優秀賞	株式会社ミヤジマ建設	中出 栄二	町谷 勉
	優 秀 賞	株式会社北陸工建	中井 敬介	坂井 喜明
	優 秀 賞	兼六建設株式会社	前山 知範	津田 幸大
(企業対抗) トラバース測量	最優秀賞	鈴木建設株式会社	上田 均	鍛冶 貴博
	優 秀 賞	真柄建設株式会社	浦野 準	黒田 太一
	優 秀 賞	日本海建設株式会社	北出 雄太	小倉 康裕



地区協会対抗水準測量受賞者の皆さん
(中央と左隣が優勝の河北都市土建協同組合チーム)



企業対抗水準測量受賞者のみなさん
(中央が最優秀賞のミヤジマ建設チーム)



企業対抗トラバース測量受賞者のみなさん
(中央と右隣が最優秀賞の鈴木建設チーム)

建産連だより

平成30年度石川県建設産業連合会理事会・通常総会の開催

石川県建設産業連合会(会長 吉光武志)では、6月21日(木)午後2時より、石川県建設総合センター6階特別会議室において、理事34名、会員28名出席のもと、平成30年度理事会・通常総会を開催した。

定刻にいたり、事務局長が開会を宣し、本日の理事会・総会の成立を告げ、規約第13条の規定により、吉光会長が議長席に着く。

議長より、議事録署名人に橋本和雄氏、岡部裕樹氏を指名し議案の審議に入った。

第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算承認について

第2号議案 平成30年度事業計画及び収支予算承認について

以上2議案をそれぞれ提案審議し、何れも満場一致で原案どおり承認可決した。

第3号議案 役員改選について

本年度は役員改選期であり、役員候補者案を審議した結果、下記のとおり役員が選任された。

なお今回専務理事を退任された、辻 啓一氏を当連合会の相談役に就任いただくこととした。



石川県建設産業連合会役員名簿

平成30年6月21日現在

役 職	氏 名	団 体 名
会長	吉 光 武 志	一般社団法人 石川県建設業協会
副会長	小 倉 淳	"
"	柿 本 自 如	石川県管工事協同組合
"	米 沢 寛	石川県電気工事工業組合
"	新 家 久 司	一般社団法人 石川県測量設計業協会
専務理事	山 岸 勇	一般社団法人 石川県建設業協会
常任理事	平 櫻 保	"
"	江 口 介 一	"
"	鶴 山 庄 市	"
"	竹 腰 勇ノ介	"
"	橋 本 和 雄	"
"	真 柄 卓 司	"
"	高 田 直 人	"
"	宮 本 外 次	石川県インテリア事業協同組合
"	岸 省 三	一般社団法人 石川県造園緑化建設協会

役 職	氏 名	団 体 名
常任理事	尾 蔵 博	一般社団法人 石川県地質調査業協会
"	寺 田 健 信	石川県鉄骨工業協同組合
"	若 宮 昇 平	石川県塗装工業会
"	北 川 隆 明	一般社団法人 石川県舗装業協会
"	通 善 一 洋	公益社団法人 石川県木材産業振興協会
理事	田 畑 秀 樹	一般社団法人 石川県建設業協会
"	北 野 一 郎	"
"	表 守 活	"
"	田 村 行 利	"
"	福 池 正 人	"
"	中 市 勝 也	"
"	西 川 英 治	一般社団法人 石川県建築士事務所協会
"	松 本 吉 弘	一般社団法人 石川県建築組合連合会
"	岡 部 裕 樹	一般社団法人 石川県交通安全施設業協会
"	橋 浦 宗 一	石川県骨材協同組合連合会
"	中 川 敬 雄	石川県コンクリート製品協同組合
"	石 動 信 明	一般社団法人 石川県左官業組合連合会
"	小 寺 洋 志	石川県鉄筋業協同組合
"	松 原 繁 光	石川県鷹工業会
"	豊 蔵 健 夫	石川県生コンクリート工業組合
監事	石 川 通 市	一般社団法人 石川県建設コンサルタント協会
"	堀 伸 市	一般社団法人 石川県建設業協会

理事35名 監事2名

石川県土木施工管理技士会だより

通常総会・講演会の開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、平成30年度通常総会・講演会」を去る6月5日(火)に石川県地場産業振興センターで、947名(内委任状721名)の出席のもと開催した。総会は、江口会長挨拶のあと、会長が議長となり下記の議事について審議し、満場一致で承認された。

< 議事 >

- 平成29年度事業報告並びに収支決算について
- 平成30年度事業計画並びに収支予算について
- 役員改選について

石川県土木施工管理技士会の平成30年度の事業計画は下記のとおり。

通常総会・表彰式・講演会の開催

JCM セミナーDVD 講習会の開催

JCM セミナーの開催

JCM セミナー特別講習会の開催

土木施工管理技士に対するアンケート調査

技術力向上を図るための各種CPDS 認定講習会等の開催(共催・後援)

現場研修会の開催

国土交通省北陸地方整備局との意見交換会

関係機関への要望会等の実施

技術発表等の論文募集

会員への「最新の建設技術」の情報提供等の実施

表彰式では、(一社)全国土木施工管理技士会連合会(会長 谷口博昭)から石川県土木施工管理技士会役員2名と優良工事従事技術者3名が受賞され、江口会長から表彰伝達が行われた。

その後、休憩を挟んで、石川県土木施工管理技士会会員の知識の習得を目的に、今回は国土交通省北陸地方整備局及び文学博士の2名の講師をお招きして講演会を開催した。講演会では、北陸地方整備局企画部の山本 悟技術開発調整官から「国土交通行政の最近の話題について」をテーマに、地域づくり、ストック効果の高いインフラ整備、災害対策、社会資本の老朽対策、建設現場の生産性向上、受発注者のコミュニケーション確保、技術者制度等についてご講演をいただいた。続いて文学博士の小林忠雄氏から「金沢の生活文化の特徴」をテーマに、古くから金沢の地に根づき、継承されてきた生活文化や生活様式、伝統技術についてご講演をいただいた。



通常総会



講演会

業界時報

平成30年6月 人事異動（国土交通省関係分抜粋）

北陸地方整備局（6月26日付）

職名
企画部長

氏名
内藤 正彦

前任地職名
水管理・国土保全局 砂防部保全課海岸室長

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年5月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	5	(4)6	8	(4)19	(3)21	285
小松監督署	3	(2)4		(2)7	(3)7	132
七尾監督署	1	(2)3	4	(2)8	(3)11	47
穴水監督署	1	(2)2		(2)3	(2)4	24
計	10	(10)15	12	(10)37	(11)43	488
前年同期	7	(11)27	9	(11)43	(11)43	385

()内は木建工事 内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土木			建築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
4月分	179	486	36.8%	3,317	2,030	163.4%	3,496	2,516	139.0%
5月分	276	668	41.3%	1,707	4,387	38.9%	1,983	5,055	39.2%
6月分									
年度累計	455	1,154	39.4%	5,024	6,417	78.3%	5,479	7,571	72.4%
28年度累計		479	95.0%		3,235	155.3%		3,714	147.5%
27年度累計		516	88.2%		3,730	134.7%		4,246	129.0%

官公庁

	土木			建築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
4月分	1,483	1,325	111.9%	180	545	33.0%	1,663	1,870	88.9%
5月分	1,907	1,085	175.8%	512	529	96.8%	2,419	1,614	149.9%
6月分									
年度累計	3,390	2,410	140.7%	692	1,074	64.4%	4,082	3,484	117.2%
28年度累計		5,181	65.4%		305	226.9%		5,486	74.4%
27年度累計		4,102	82.6%		1,468	47.1%		5,570	73.3%

合計（民間＋官公庁）

	30年度	29年度	%
4月分	5,159	4,386	117.6%
5月分	4,402	6,669	66.0%
6月分			

	30年度	29年度	%
年度累計	9,561	11,055	86.5%
28年度累計		9,200	103.9%
27年度累計		9,816	97.4%

会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
壁屋建設株式会社	壁屋 俊夫	壁屋 俊輔	平成30年6月1日
鈴木建設株式会社	鈴木 宗幸	鈴木 規秀	平成30年6月11日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成30年7月行事予定

- 7月 2日(月) 石川県直轄国道整備促進部会 役員会・総会・意見交換会
- 3日(火) 正副会長会議
建設業労働災害防止大会
- 4日(水) 公正採用選考人権啓発協力員会議(石川労働局)
(金沢駅西合同庁舎)
- いしかわ21世紀住まいづくり協議会 総会
(石川県地場産業振興センター)
- 5日(木) 全国事務担当者説明会 (第一ホテル東京)
- 6日(金) 建築委員会 全体会議
現場見学会(羽咋工業高校)(金沢・小松方面)
- 8日(日) 作野県議会議長就任祝賀会(グラントホテル松任)
- 10日(火) 現場見学会(小松工業高校) (金沢方面)
情報共有システム講習会(～11日)
(珠洲建設業協会)
- 建築委員会 石川県との意見交換会
(ホテル日航金沢)
- 11日(水) 石川商工中金会 理事会・総会
(ホテル日航金沢)
- 12日(木) 会報編集委員会
石川県共同募金会配分委員会
(石川県社会福祉会館)
- 13日(金) 現場見学会(金沢工業大学) (輪島方面)
建築委員会 住宅部会
「北陸の建設技術」編集委員会
(上越市高田河川国道事務所)
- 経営者講習会 in 能登(能登空港ターミナルビル)
- 17日(火) 現場見学会(翠星高校) (金沢・小松方面)
- 18日(水) 工事の生産性向上等説明会
(石川県地場産業振興センター)
- 広報・研修委員会 企画部会
石川県道路整備促進協会 理事会・総会・意見交換会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 19日(木) 北陸農政局長への施策提案 (北陸農政局)
建設共済説明会 (河北郡市土建協同組合)
全国建産連 専門工事業委員会
(東京 建設業振興基金301会議室)

- 19日(木) 「北陸インフラメンテナンスフォーラム」企画運営会議
(金沢河川国道事務所)
- 20日(金) JCM セミナー DVD 講習会
(能登空港ターミナルビル)
- 土木委員会正副委員長等会議・懇談会
(金沢市内)
- 21日(土) ドローン講習会 (金沢市内)
- 24日(火) 建築委員会 公共建築事務連絡協議会
(ホテル日航金沢)
- 25日(水) 建設キャリアアップ説明会
(石川県地場産業振興センター)
- 石川県建設業社会保険加入推進地域会議
(石川県庁)
- 26日(木) 北陸建設青年会議役員会 (富山県建設業協会)
- 29日(日) 北陸新幹線建設促進石川県民会議
(石川県地場産業振興センター)
- はせ浩政経セミナー (ホテル金沢)
- 30日(月) 事務局打合せ
- 31日(火) 社会資本整備セミナー
(石川県勤労者福祉文化センター)
- 全建 労働委員会 (東京 東京建設会館)

平成30年8月以降の行事予定

- 8月 1日(水) 人権啓発講習会〔石川県総務課〕
(辰口福祉会館)
- 3日(金) 自民党県連との懇談会 (ホテル金沢)
正副会長会議
常任理事会
協同組合 事業運営委員会
JCM セミナー
- 5日(日) 岸田文雄自民党政務調査会長との意見交換会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 7日(火) 青年委員会
- 8日(水) 石川県景観審議会計画部会 (石川県庁)
- 11日(土) 三和公民館ふれあい事業 (三和公民館)
- 24日(金) 土地改良委員会 技術検討部会 現場研修
(広域農道(門前))
- 9月 3日(月) 正副会長会議

- 9月11日(火) 県央農林安全対策協議会 安全パトロール
(県央農林総合事務所)
- 18日(火) JCM セミナー
19日(水) 広報・研修委員会
28日(金) 北陸建設業協会会長会議
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 10月16日(火) 北陸建設業協会地域懇談会 (ホテル日航金沢)
23日(火) 登録解体工事講習
25日(木) 建設技術報告会
(石川県地場産業振興センター(本館))

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
謝礼 投稿頂いた記事について薄謝(図書券)贈呈

(注)お問い合わせは、
(一社)石川県建設業協会事務局広報担当
TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 7月 3日(火) 青年：幹事会
4日(水) 土木：県央土木総合事務所幹部との意見交換会
5日(木) 記念事業推進検討部会
9日(月) 青年：情報発信セクション
10日(火) 土木：市実務担当者との意見交換会
11日(水) 奉仕委員会
13日(金) 女性活躍推進準備部会
17日(火) テレビ講座
20日(金) 常任理事会
23日(月) ゴルフ委員会
青年：技術防災セクション
24日(火) 土木：全体会
25日(水) 建築：現場担当者との意見交換会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 7月 4日(水) 土木委員会 管内視察研修
25日(水) 建防災加賀分会 安全パトロール

《お知らせ》

- 8月25日(土) 親子ふれあい木工教室 開催

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 7月 3日(火) 監理技術者講習
建築委員会
24日(火) CPDS&CPD 講習会
南加賀地区労働災害防止連絡会議

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 7月 4日(水) 第14回安全大会
6日(金) 海浜粗大ゴミ撤去ボランティア
13日(金) 先進地視察研修(青年委員)(~14日)
24日(火) 石川農林安全対策協議会総会
25日(水) CPDS 講習会(第2回)
26日(木) 理事会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 7月19日(木) 定例役員会
県央農林管内(労働災害防止研修及び講習会)

(一社)羽咋郡市建設業協会

《お知らせ》

- 7月 3日(火) 監理技術者講習会
4日(水) 羽咋郡市農林工事安全対策協議会総会
11日(水) 中能登土木総合事務所との意見交換会

《お知らせ》

- 7月21日(土) 「小学生の見た建設の絵」の募集(~9月30日)

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 7月 6日(金) 土木委員会

《お知らせ》

- 8月 1日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 7月13日(金) 「建設業経営講習会 in 能登2018」
23日(月) 奥能登土木委員会「施工管理部会」

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 7月10日(火) 情報共有システム講習会(~11日)
13日(金) 建設現場工事安全パトロール
17日(火) 監理技術者講習会
日本スカウトジャンポリー開催に伴う道路愛護
(除草作業)(~18日)
20日(金) 献血活動
25日(水) 道路おもてなしクリーン作戦